学校だより　第７号　１１月号　令和８年１１月２日

志染っ子

三木市立志染小学校　発行

心豊かに　元気よく　主体的に学ぶ子の育成
～元気なあいさつ　笑顔いっぱい　みんなかがやく　志染っ子～

『やってみたい』が未来を拓く

暦の上では立冬を迎える頃となりましたが、今年は例年より暖かな日が続いております。それでも校庭の木々は少しずつ秋色を深め、季節の移ろいを感じさせてくれます。実りの秋を迎え、子どもたちは学習や学校行事を通して多くのことを学び、それぞれの成長の実を着実に結びつつあります。



もみじ饅頭手焼き体験【修学旅行】

さて、先月は６年生が修学旅行、５年生は自然学校、３・４年生は淡路の都志小学校との交流会、さらに１・２年生は三木山森林公園での活動とそれぞれの学年が、仲間とともに貴重な体験を通して大きく成長しています。

ところで、本校の学校教育目標は、『心豊かに　元気よく　主体的に学ぶ子の育成』です。子どもたちが主体的に学び、自ら考え行動する力を育むことができるよう、教職員は日々知恵を出し合いながら教育活動の充実に努めています。

例えば、修学旅行において６年生は、バスで姫路駅についてから、担任が、「〇〇時□□分発の広島行きの新幹線に乗ります。自分たちで考えながら駅のホームまで行ってみましょう。」と課題を出し、子どもたちに考えさせると同時に達成感を味わわせていました。６年生の子どもたちは、表示を手掛かりにしながら、協力して進み、仲間と知恵を出し合いながら行動する頼もしさが見られました。

また、５年生の子どもたちには自然学校で、「自分のことは自分でしよう」「仲間を大切にしよう」「あきらめずに挑戦しよう」という話をしました。子どもたちは、しおりでプログラムを確認しながら、次の活動や翌日の予定を意識しながら、自ら考えて仲間に声をかけながら行動していました。集合時刻より早めに集まることや、就寝前に翌日の服装や持ち物を準備するなど、見通しをもって生活する姿が随所に見られました。なかには、翌日の入浴準備まで整えている子もおり、先を見据えて主体的に行動する姿に大きな成長を感じました。



バウムクーヘンづくり【自然学校】

話は変わりますが、先日参加した研修会で、講師の平田オリザさんは、『子どもに好奇心をつけてやることが大切である』と話されていました。「やってみたい」「知りたい」「挑戦したい」という思いこそが、子どもたちを成長へと導く原動力です。今後も子どもたちの好奇心に火を灯し、自ら学び、自ら行動する力を育んでいけるよう教職員一同力を合わせて取り組んでまいります。

校長　田邉久嗣